

講義科目1-2

獣医倫理・動物福祉学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

生命倫理学の基本原則を理解し、その上で獣医学および獣医療の基本理念としての獣医倫理・動物福祉の考え方を総合的に理解する。倫理性の豊かな獣医師として、獣医療、動物愛護と福祉、畜産の発展、教育、研究、環境保全、社会奉仕などに貢献するために獣医倫理を実践に応用できる資質を身につける。

導入教育として概論的内容の(1)～(5)を行い、参加型実習など臨床実習の開始前に各論的内容の(6)～(11)を行う方法が勧められる。

(1) 生命倫理学入門

一般目標：

生命倫理学の概念が様々な立場、国、時代によって異なることを理解し、動物に関わる生命倫理学について考察する。

到達目標：

- 1) 生命倫理学の黎明期から現代に至る過程および獣医師に求められる生命倫理を簡潔に説明できる。
- 2) 動物の福祉に関する基本原則を理解し、動物の権利と動物福祉の違いを説明できる。
- 3) 様々な動物と人間の関係を理解した上で、それぞれの動物種との関係ごとに配慮すべき倫理的問題が異なることを説明できる。

(2) 西欧の動物保護法規と日本の動物保護法規

一般目標：

西欧および日本の動物保護法の歴史と現状を学ぶ。

到達目標：

- 1) 西欧の動物保護および動物福祉に関する法律を説明できる。
- 2) 日本の動物保護の歴史、動物保護法の法的位置と基本原則を説明できる。

(3) 日本の獣医関連法規と獣医倫理の基本原則

一般目標：

日本の現行法規に示す獣医倫理の基本原則と獣医師の倫理的目標を理解する。

到達目標：

- 1) 獣医師法と獣医療法の示す倫理的原則および動物愛護法と動物飼養保管基準の示す倫理的原則を説明できる。
- 2) 防疫の重要性と獣医師の役割の概略および獣医師倫理を説明できる。

(4) 獣医師に関わる倫理学

一般目標：

獣医師会および関係団体の制定した倫理綱領の理念および獣医師の専門職倫理について学ぶ。また、立場により利益が相反する種々の問題が存在することを学び、獣医師に関わる倫理問題の実践的な解決法について考える。

到達目標：

- 1) 獣医師の専門職倫理と獣医師の義務を説明できる。
- 2) 医学で問題となる生命倫理と獣医療との関連を説明できる。
- 3) 獣医療の端緒としてのインフォームド・コンセント、飼い主との対話の重要性を説明できる。

(5) 動物実験に関わる獣医倫理および科学実験の遂行と成果の発表に関する倫理

一般目標：

動物実験の種類とその必要性、実験動物の福祉に配慮した飼育および代替法などの概略を理解する。また、研究成果の公表等に関する科学者としての倫理を理解する。

到達目標：

- 1) 動物実験の種類と必要性、および実験動物における福祉の概略を説明できる。
- 2) 遺伝子改変細胞・動物の取扱いに関する問題点を説明できる。

(6) 伴侶動物の獣医療と獣医倫理

一般目標：

伴侶動物の獣医療における獣医倫理の基本原則および飼い主への対応を深く理解する。

到達目標：

- △1) 伴侶動物の診療における動物と飼い主への対応を説明できる。
- △2) インフォームド・コンセントおよび診療後の飼育指導の重要性を説明できる。
- △3) 終末期獣医療における獣医倫理上の対応を説明できる。
- △4) 伴侶動物と飼い主等との生別や死別に対応する場合の獣医倫理上の配慮を説明できる。

(7) 産業動物の獣医療と獣医倫理

一般目標：

産業動物の福祉について、我が国の現状と目標および世界の潮流を理解する。

到達目標：

- △1) 産業動物の種類と利用目的を獣医倫理の観点から説明できる。
- △2) 産業動物の動物福祉に関し、飼い主、調教師、獣医師の役割と責務を説明できる。
- △3) 産業動物の飼育や輸送に関し、種ごとの適切な取扱い方法や理想的な方法を説明できる。
- △4) 産業動物のと殺方法を説明できる。

(8) 補助犬と獣医倫理および災害時における人間と動物に関わる獣医倫理

一般目標：

補助犬の実際を理解し、獣医師の適切な倫理的対応を修得する。また、災害時における被災動物や救助犬に対する倫理的対応を修得する。

到達目標：

- △1) 補助犬の定義、補助犬の作出過程を説明できる。
- △2) 補助犬に課さなければならない自然生活抑制および断種の倫理的正当性を説明できる。
- △3) 補助犬に対して獣医師の果たす役割を説明できる。

(9) 動物介在療法と獣医倫理

一般目標：

動物介在療法における適切な獣医倫理的対応を修得する。

到達目標：

- △1) 動物介在療法の意義と現状、および考慮すべき倫理的問題を説明できる。
- △2) 動物介在療法における患者の安全性確保を説明できる。

(10) 野生動物および展示動物と獣医倫理

一般目標：

野生動物の異常な増加や種の消滅などに関する問題を学び、倫理的問題を考察する。また、博物館、動物園、水族館などの展示動物が果たす社会的使命とこれら動物達の尊厳を理解する。

到達目標：

- △1) 野生動物や海洋哺乳動物の保護と適正な育成に係わる倫理および社会的問題の背景を説明できる。
- △2) 動物展示の教育上および社会的な価値を説明できる。

(11) 医薬品使用と獣医倫理

一般目標：

人体用医薬品の動物使用における獣医倫理的対応を理解する。また、人体に影響を与える可能性のある

薬剤の体内残留や食用動物に対する法的規制について理解する。

到達目標：

- △1) 人体用医薬品を獣医療で利用する場合の問題点を説明できる。
- △2) 獣医師の動物薬調剤権（処方箋）と責務、および獣医師の処方箋による薬剤師の調剤について説明できる。
- △3) 食用動物に対する薬剤投与の法的規制を説明できる。